

ごみ減量 もったいない MOTTAINAI かわらばん

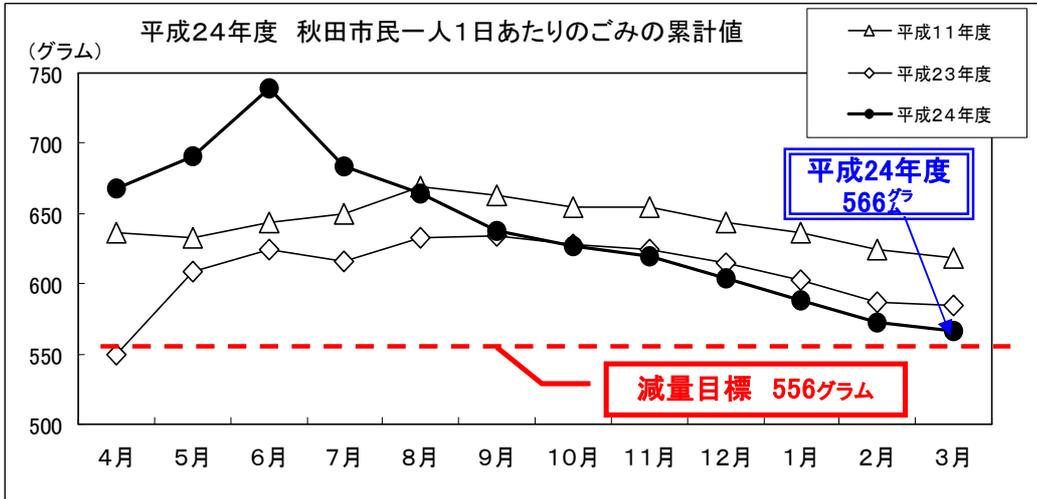
秋田市ごみ減量広報紙

第 34 号

平成25年4・5月号

発行

秋田市環境部環境都市推進課 〒011-0904 秋田市寺内蛭根三丁目24-3
 電話：866-2943 FAX：863-6683 E-mail：ro-evcp@city.akita.akita.jp
 秋田市HP <http://www.city.akita.akita.jp/> くらし → ごみ・リサイクル・環境 → 秋田市環境部HP



目標達成まであと10グラム
ひき続き「ごみ減量」をお願いします

上のグラフは、秋田市民一人1日あたりのごみ量の累計値の推移です。秋田市では、平成24年度までに、この量を556グラム以下にすることを目標にしてきました。24年度のごみの排出量は566グラムとなり、目標にわずかに10グラム届きませんでした。

これは、平成24年4月の爆弾低気圧による被害物が多く出されたことや、有料化前の駆け込み排出によるものと考えておりますが、有料化が開始した7月以降は508グラムとなり、平成11年度の排出量からは18%減となっております。

目標排出量まであと少しです。今後もごみの減量にご協力くださるようお願いいたします。



5月30日はごみゼロの日。6月1日は環境展を開催!



秋田駅でエコアちゃんのごみゼロをPR!

5月30日は、語呂合わせで「ごみゼロの日」としています。身の周りのごみについて考える機会としてみてはいかがでしょうか。左の写真は昨年の様子です。「環境展」は例年どおりアゴラ広場で6月1日(土)開催です。ご家族で参加して楽しめるイベントで環境を知るきっかけにいただければ幸いです。クイズやごみ減量グッズの抽選もあります。



環境展「ごみ分別釣り」の様子

☆裏面へ

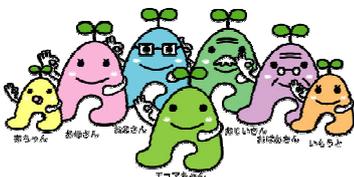
続 必見!「ごみの減らしかた」ご紹介

日々の生活の中で、一人ひとりがごみ減量への意識をもち、普段から気を配ることで、ごみを少なくし環境への負担を少なくすることができます。身近なところから始められるごみ減量に、ぜひ取り組みましょう。

ごみ減量の エコアちゃん



ごみを減らして、
よりよい秋田を次世代に
つなげたいですね



秋田市ごみ減量キャラクター
エコアちゃんファミリー

ごみ減量の コツその1

基本は生ごみの水切りと雑がみ分



生ごみを捨てる前の水切りで、約1割の水が減ります。調理時、水に濡らさなくてよい部分があれば最初から濡らさない、お茶がらやティーバッグは乾燥させてから捨てる、などの方法も有効です。



右のような紙類は、雑がみとして古紙の日に出すことでリサイクルされます。付着するビニール類は取り外して、紙ひもで結束してお出してください。



ごみ減量の コツその2

自宅用を包装してもらわない習

マイバッグ
持って来ました!



購入時に、包装せずシールで済ませたり、贈答品もできるだけ簡易な包装にしようとしてごみが減り、資源も使いません。

買い物の際に、マイバッグを持ってレジ袋を断るのも同様で、ごみを減らす手法のひとつです。



ごみ減量の コツその3

必要な分だけ

購入した食材を食べきる。ごみの組成調査では、開封されずに捨てられた食材があります。

買い物も調理も、食べきる分だけにして、資源もお金も大切にしましょう。



秋田市環境部 環境都市推進課 TEL 866-2943 FAX 863-6683